

【用語解説】(50音順)

[あ]

一時解放こども広場

市民や東京都等から空き地を借りて子どもの遊び場として提供している空地

ICT

Information and Communication Technology：情報通信技術の略。情報や通信に関する技術の総称を指す。

OJT

on-the-job training の略。日常的な職務の場で、職務を通して、必要な知識や技能、意欲、態度などを、意識的、計画的、継続的に高めていく取り組み。

[か]

学校評価システム

第三者評価を基に学校運営の改善を図りつつ、教育水準の向上に努めるシステム。平成 21 年度から行われている。PDCA サイクル の考え方に従い、学校評価を系統的に実施し、その結果について学校関係者の理解を得ることにより、自校の教育の一層の充実を継続的に図っていくための一連の措置と取組

学校評議員（制度）

学校評議員制度に基づき、学校運営に関し意見を述べる委員。同制度は、地域社会に開かれた学校づくりを一層推進していくため、地域住民の学校運営への参画の仕組みを制度化している。平成 12 年 1 月の学校教育法施行規則の改正により導入された。

キャリア教育

望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育

子育て広場

保育園・幼稚園を活用した子育てに関する地域活動の拠点。身近な場所で子育てに関する相談や育児講座、交流などを行う。

子ども家庭支援センター

多様化する保育ニーズに対応するため、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供を担い、子育てを総合的に支援する組織。昭島市では児童センターに設置されている。

[さ]

食育

生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等がはかれるように、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を身に付けるための学習等の取り組み。食育基本法では、「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置づけられている。

食農教育

生きることの最も基本的な要素である「食」と、それを支える「農（農業）」について、学び体験することにより、「食」の大切さ、「食」を支える「農」の役割、自らの暮らしと社会の営みとの関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどに対する理解を広げ深めることことに主眼を置いた教育

スクールカウンセラー

教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家の職業名。いじめや不登校などの心の悩みや問題に専門的立場から助言・援助を行う。

[た]

つどいの広場

子育て中の親が気軽に集い、語り合っ子育ての不安を解消する場を提供する地域子育て支援拠点事業の一形態。主に乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親が、うち解けた雰囲気の中で交流するとともに、子育ての相談に専門職が応じる場を提供している。

ティームティーチング

複数の教員が協力して行う授業方式の一つ。

特別支援教育

障害のある児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組みを支援するという視点に立ち、児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な指導を行う教育

特別活動

小・中学校の教科・道徳と並ぶ教育課程の一領域。児童・生徒活動、学校行事、学級指導の三つから成り、集団の活動を通して個性を伸ばし実践的態度を育てることを目的とする。

[な]

認定こども園制度

幼稚園と保育所等の制度の枠組を越え、それぞれの良いところを生かしながら、幼児教育と保育を一体的に提供し、地域で子育て家庭に対する支援を総合的に行う高機能な施設を目指す制度。現行の幼稚園や保育所等の設置者が知事に申請しその認定を受ける。

[は]

バリアフリー

障害者や高齢者等の社会生活弱者が社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための施策、又は具体的に障害を取り除いた状態

文化財マップ

昭島市内の史跡、文化財に関する情報を掲載したガイドマップ。史跡・文化財めぐりの推奨コースなどを提供している。

[や]

ユニバーサルデザイン

年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、できるだけ多くの人利用可能なように、利用者本位、人間本位の考え方に立ち、はじめからあらゆる方法でバリア（障壁）を生み出さないようにし、できるだけ多くの人にとってより快適な環境を創りだすデザイン、またその考え方

[わ]

ワーク・ライフ・バランス

市民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態、「仕事と生活の調和」と訳されている。